



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月10日

上場会社名 堀田丸正株式会社

上場取引所 東

コード番号 8105 URL <https://www.hotta-marusho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上杉 隼士

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 矢部 和秀

TEL 03-6824-9481

半期報告書提出予定日 2025年11月10日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	1,452	5.1	193	—	188	—	240	—
2025年3月期中間期	1,530	19.8	186	—	158	—	163	—

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 252百万円 (—%) 2025年3月期中間期 136百万円 (—%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	4.27	—
2025年3月期中間期	2.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	3,057	2,422	79.2
2025年3月期	3,330	2,675	80.3

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 2,422百万円 2025年3月期 2,675百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2026年3月期の配当予想は未定であります。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	3,200	3.3	200	—	190	—	230	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

以外の会計方針の変更：無

会計上の見積りの変更：無

修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	59,640,348 株	2025年3月期	59,640,348 株
2026年3月期中間期	3,396,157 株	2025年3月期	3,396,007 株
2026年3月期中間期	56,244,322 株	2025年3月期中間期	56,244,441 株

期末自己株式数

期中平均株式数（中間期）

第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象の注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績等の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、通商政策等の日米間の交渉が合意に至るなど前向きな動きがみられたものの、海外経済は減速が予想され、ウクライナや中東等を巡る地政学的な要因により資源・穀物価格が上昇するリスクがあり、国内経済は先行き不透明な状況にあります。また、個人消費は、物価上昇による先行きへの不安から家計の生活防衛意識が強まり、節約を意識した消費行動が増えております。

このような状況の中、当社グループは前期に構造改革を実施し、不採算事業から撤退するとともに、中長期的な価値創造を見据えた事業に経営資源を集中し、成長基盤の構築を進めてまいりました。構造改革によるコスト削減の効果はあったものの、きものを除く全セグメントにおいて減収、また、円安等による仕入コストの上昇や物流コストの上昇なども影響し全社において減収減益となりました。経常利益においては、2025年8月4日に公表いたしました「親会社、その他の関係会社、主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動」に記載のとおり、親会社であったRIZAPグループ(株)が、Bakkt Opco Holdings, LLCへ株式を譲渡したことに伴い、新規事業への資金調達の検討や臨時株主総会の開催などにむけた費用等を計上いたしました。

加えて、当社が保有する一部固定資産について、収益性の低下が見られたため、減損損失として特別損失に42百万円を計上いたしました。

この結果、売上高は14億52百万円(前年同期比5.1%減)、営業損失は1億93百万円(前年同期は営業損失1億86百万円)、経常損失は1億88百万円(前年同期は経常損失1億58百万円)、親会社株主に帰属する中間純損失は2億40百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失1億63百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(きもの事業)

専門店事業は、新規催事企画の推進、新商品の販売等新たな取り組みが成果を得ましたが、前期の大型倒産による影響と大手きものチェーン店が大きく落ち込み減収減益、百貨店事業は、百貨店単独売場化を推進し、中間連結会計期間においては前年を上回る結果となりましたが、販売コストが重みとなり増収減益となりました。

この結果、売上高は3億29百万円(前年同期比3.6%増)、営業損失は67百万円(前年同期は営業損失38百万円)となりました。

(ライフスタイル事業)

ヘルスケア部門において、大口取引先からの受注が軟調に推移し減収減益となりました。

この結果、売上高は15百万円(前年同期比24.5%減)、営業損失は5百万円(前年同期は営業損失3百万円)となりました。

(ファッション事業)

ジュニア部門は、円安による原価高が影響しましたが、収益性を鑑みた取引先の選択と集中により増収増益、ホームファッション部門は、円安進行による原価高をコスト削減で吸収し減収増益、ミセス部門の卸事業は、PB品の受注が好調に推移しましたが、催事販売は開催数の減少が影響し減収減益、SHOP事業は、前期での出店により前年並みとなりましたが、販売コストが重みとなり減益、ファッション事業全体で減収ながら営業損失が縮小となりました。

この結果、売上高は6億65百万円(前年同期比5.6%減)、営業損失は22百万円(前年同期は営業損失27百万円)となりました。

(マテリアル事業)

国内事業は、国内アパレルメーカーからの受注減により減収、上海事業は、中国内需の取引は引き続き厳しい状況にありましたが、国内事業との連携により日本への販売が好調に推移し増益となりました。国内事業及び上海事業ともにコストの大幅削減を行ったことにより営業損失は縮小いたしました。

この結果、売上高は4億36百万円(前年同期比9.3%減)、営業損失は7百万円(前年同期は営業損失19百万円)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は28億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億44百万円減少いたしました。これは主に、商品及び製品が24百万円増加したものの、短期貸付金が2億10百万円減少したことによるものであります。固定資産は1億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ28百万円減少いたしました。これは主に、投資その他の資産が5百万円増加したものの、有形固定資産が34百万円減少したことによるものであります。この結果、総資産は30億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億72百万円減少いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は6億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が20百万円減少したことによるものであります。固定負債は29百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円増加いたしました。これは主に、その他固定負債が2百万円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は6億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は24億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億52百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純損失計上による利益剰余金2億40百万円の減少によるものであります。この結果、自己資本比率は79.2%(前連結会計年度末は80.3%)となりました。

②キャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、資金という)は、前連結会計年度末に比べ82百万円減少し、3億91百万円となっております。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は、2億9百万円(前年同期は2億68百万円減少)となりました。これは主に、売上債権の減少21百万円による増加要因はあったものの、税金等調整前中間純損失2億36百万円、棚卸資産の増加30百万円、仕入債務の減少26百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、増加した資金は1億34百万円(前年同期は4億95百万円の増加)となりました。これは主に、貸付金の回収による収入9億60百万円、貸付による支出7億50百万円、担保預金の預入による支出60百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は0百万円の減少(前年同期は増減なし)となりました。これは自己株式の取得による支出0百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年3月期第2四半期(2025年4月1日～2025年9月30日)の状況を踏まえ、2025年5月15日付「2025年3月期決算短信」にて公表しておりました2026年3月期の連結業績予想を変更しております。

詳細につきましては、2025年11月10日公表の「営業外費用、特別損失(減損損失)の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において、営業損失3億55百万円及び経常損失3億円、親会社株主に帰属する当期純損失4億7百万円を計上する結果となりました。当社グループの業績は、前連結会計年度まで7期連続で営業損失、経常損失を計上しております。そのため過去の業績も考慮し、継続企業の前提に関する注記を開示するまでに至りませんが、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しているものと認識しております。

当社グループといたしましては、当期の利益計画において連結営業損失を見込んでおりますが、2025年8月4日に公表いたしました「親会社、その他の関係会社、主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動」による当社株式

の譲渡に伴い、2025年11月11日開催予定の臨時株主総会において定款の一部変更が承認された後に、新経営体制のもと新規事業（暗号資産事業）への取り組みを行う予定であるとともに、保有現預金から資金計画上、継続企業の前提に関する不確実性は認められないものと判断しております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	474,747	451,784
受取手形、売掛金及び契約資産	399,529	395,443
電子記録債権	107,644	87,151
商品及び製品	937,763	961,851
原材料及び貯蔵品	43,002	43,109
短期貸付金	1,110,000	900,000
その他	50,770	40,147
貸倒引当金	△10,935	△11,469
流動資産合計	3,112,522	2,868,019
固定資産		
有形固定資産	117,107	83,038
無形固定資産	-	431
投資その他の資産		
その他	184,846	191,997
貸倒引当金	△84,311	△85,946
投資その他の資産合計	100,535	106,051
固定資産合計	217,642	189,521
資産合計	3,330,164	3,057,541
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	280,779	260,361
電子記録債務	210,055	199,569
未払法人税等	8,126	4,969
その他	128,344	140,345
流動負債合計	627,305	605,245
固定負債		
資産除去債務	9,899	9,929
その他	17,568	19,711
固定負債合計	27,467	29,640
負債合計	654,773	634,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,236,690	3,236,690
利益剰余金	△359,519	△599,837
自己株式	△389,580	△389,661
株主資本合計	2,587,590	2,347,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,650	12,702
為替換算調整勘定	79,150	62,760
その他の包括利益累計額合計	87,800	75,463
純資産合計	2,675,391	2,422,654
負債純資産合計	3,330,164	3,057,541

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,530,760	1,452,806
売上原価	1,027,507	977,191
売上総利益	503,252	475,615
販売費及び一般管理費	690,125	669,321
営業損失 (△)	△186,872	△193,706
営業外収益		
受取利息	33,625	33,811
受取配当金	866	967
為替差益	-	714
その他	801	3,208
営業外収益合計	35,292	38,701
営業外費用		
支払利息	61	35
支払手数料	-	30,735
株主優待関連費用	3,000	2,992
為替差損	3,371	-
その他	22	157
営業外費用合計	6,454	33,922
経常損失 (△)	△158,034	△188,926
特別損失		
減損損失	-	42,059
その他	-	5,702
特別損失合計	-	47,762
税金等調整前中間純損失 (△)	△158,034	△236,688
法人税、住民税及び事業税	5,403	3,629
法人税等合計	5,403	3,629
中間純損失 (△)	△163,437	△240,318
親会社株主に帰属する中間純損失 (△)	△163,437	△240,318

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
中間純損失 (△)	△163, 437	△240, 318
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△736	4, 052
為替換算調整勘定	27, 778	△16, 389
その他の包括利益合計	27, 042	△12, 337
中間包括利益	△136, 395	△252, 655
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△136, 395	△252, 655

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失 (△)	△158,034	△236,688
減価償却費	4,229	7,586
為替差損益 (△は益)	△8,280	△3,088
減損損失	-	42,059
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7,897	2,169
受取利息及び受取配当金	△34,491	△34,779
支払利息	61	35
売上債権の増減額 (△は増加)	167,532	21,437
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△113,080	△30,816
仕入債務の増減額 (△は減少)	△106,427	△26,884
その他	△53,864	21,281
小計	△294,458	△237,687
利息及び配当金の受取額	34,817	35,066
利息の支払額	△61	△35
法人税等の支払額	△8,411	△6,786
営業活動によるキャッシュ・フロー	△268,112	△209,443
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,700	△6,530
無形固定資産の取得による支出	-	△479
長期前払費用の取得による支出	-	△9,064
投資有価証券の取得による支出	△516	△537
敷金の回収による収入	8,130	1,144
担保預金の預入による支出	-	△60,000
貸付けによる支出	△2,530,000	△750,000
貸付金の回収による収入	3,030,000	960,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	495,913	134,532
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	△81
財務活動によるキャッシュ・フロー	-	△81
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,409	△7,969
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	250,210	△82,962
現金及び現金同等物の期首残高	420,270	474,747
現金及び現金同等物の中間期末残高	670,481	391,784

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	きもの事業	ライフスタイル事業	ファッション事業	マテリアル事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	318,544	21,162	704,824	480,780	1,525,312	5,448	1,530,760	-	1,530,760
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	318,544	21,162	704,824	480,780	1,525,312	5,448	1,530,760	-	1,530,760
セグメント利益(又はセグメント損失(△))	△38,565	△3,614	△27,989	△19,340	△89,510	4,623	△84,887	△101,985	△186,872

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△101,985千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	きもの事業	ライフスタイル事業	ファッション事業	マテリアル事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	329,887	15,977	665,206	436,278	1,447,349	5,457	1,452,806	-	1,452,806
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	329,887	15,977	665,206	436,278	1,447,349	5,457	1,452,806	-	1,452,806
セグメント利益(又はセグメント損失(△))	△67,364	△5,218	△22,525	△7,683	△102,792	4,200	△98,591	△95,114	△193,706

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△95,114千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「きもの事業」において8,686千円、「ファッション事業」において14,595千円の減損損失を計上しております。

また、報告セグメントに含まれない「その他」(不動産賃貸事業)において8,899千円、報告セグメントに帰属しない全社資産において9,878千円の減損損失を計上しております。

なお、当中間連結会計期間における減損損失計上額は、42,059千円であります。

（重要な後発事象の注記）

当社は、2025年9月26日公表の「臨時株主総会の開催並びに商号の変更及び定款の一部変更に関するお知らせ」のとおり、同日開催の取締役会において、2025年11月11日に臨時株主総会を開催することを決議いたしました。

同総会では、取締役の選任、譲渡制限付株式ユニットによる株式報酬制度の導入、及び定款の一部変更（商号変更並びに新事業追加等）を付議しております。

これらの議案は、当社の経営体制および今後の事業方針に重要な影響を及ぼす可能性があります。